

2024 年度 大学院秋季・春季入試（中国言語文化学専攻）

博士課程（前期）

外国語科目 英語

【合否判定の方法】

提出書類および外国語試験、専門科目、面接の成績を総合的に評価し、合否を判定する。

【合否判定の基準】

提出書類および各試験の結果を総合的に評価し、研究計画の妥当性および博士課程における研究遂行能力を有しているかを判断する。

1 試験日（秋季）2023 年 10 月 14 日
（春季）2024 年 2 月 16 日

2 科目 外国語科目・英語（100 点満点）

3 出題意図（秋季・春季共通）

（1）は清代の中国に題材を取った小説、（2）は英文による中国語文法の入門書である。文学と文法という異なる二つの分野の英文が共に理解できるかどうかを確かめる。

4 模範解答（2024 年 2 月 16 日の試験を例として）

（1）ワン・ルンはそこに立って、このお屋敷の主人に贈り物を持って行く妻子の姿が奥深く消えるまで見つめていた。彼としては実に誇らしい気持ちだ。彼らの姿が奥から奥へと次第に小さくなるのを見送っていたが、それが全く消えると、彼は門番の家に入ってあのアバタのある女房のすすめに従って、中の間のテーブルから左にあたる上座に当然のように腰を下ろした。そして彼女が茶をすすめても、軽く会釈しただけで、そんな安物のお茶は飲めないと言わんばかりに、口をつけなかった。

（2）中国語は語順にもとづいて分類することが難しい言語であり、それには 3 つの理由がある。まずその理由を述べ、その後で詳しい検討を行いたい。

まず、主語の概念が中国語においては文法構造上明確に定義できないことである。

次に、中国語の語順は多分に意味の影響を受けるのであり、文法機能の支配を受けるわけではないことである。このことは、中国語の動詞は文頭、文中、文末すべての位置に現れうることを意味する。グリーンバーグの説に従って性格づけられる言語は、フランス語やトルコ語のように、語順が明確かつ厳格に文法を基礎として決定される言語である。

最後に、中国語を動詞が文中に置かれる言語、文末に置かれる言語どちらに見なすにして

も、中国語はグリーンバーグの類型論的な枠組みによる VO 語順や OV 語順の特徴とは一致しないことである。文例のサンプルから見れば、中国語は VO 語順が OV 語順よりも圧倒的に多いことが見て取れるが、修飾語は被修飾語の前に置かれるのであり、これは OV 語順の特徴である。

以下、中国語の語順を決定するにあたって、この 3 つの理由を更に詳しく検討してみよう。

※著作権の関係で過去問題の掲載はできない。

以上